

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（協力校）

## 空知管内 岩見沢市立栗沢小学校

### ■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、アイヌの人たちの歴史や文化について事前学習を行うとともに、修学旅行において国立アイヌ民族博物館を訪れ、見学や体験的な活動等を通して、アイヌの人たちの歴史や文化を自分たちの住む地域と比較しながら、探究的な学習を行いました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1) 課題の設定

前年度の学習と課題を踏まえ、「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、副読本の活用や、書籍及びインターネット等による調べ学習を通して、アイヌの人たちの歴史や文化に対する興味・関心を喚起し、「アイヌの人たちの歴史や文化について調べ、壁新聞にまとめる」という探究課題を設定しました。



【ウポポイでの体験学習の様子】

##### (2) 情報の収集

「アイヌ民族：歴史と現在－未来を共に生きるために－」（公益財団法人アイヌ民族文化財団発行）を活用し、アイヌの人たちの歴史、文化、生活及び自然との関わりなど、アイヌの人たちが自分たちの文化を大切に受け継いできたことなどを学びました。

学んだことに基づき、話し合いを通して、「歴史」「アイヌ語」「衣食住」「文化」「儀式・行事」の5つのテーマを設定し、資料の収集を行いました。

##### (3) 整理・分析

収集した資料の整理・分析を行い、「アイヌの人たちの歴史があって今の北海道につながっていること」「自然と神々がアイヌの人たちの生活に位置付けていたこと」「自然と一体となった、生きるための工夫や文化、言葉が根付いていたこと」等を学びました。

##### (4) まとめ・表現

学習の成果として、テーマ別に写真等を用いて壁新聞にまとめ、発表し合う活動を通してアイヌの人たちの歴史や文化、ふるさとについて理解を深め合いました。発表後、改めて「自分たちの町、栗沢を発信する」ことを課題として設定し、栗沢のよさについて調べ、再度壁新聞にまとめる学習を展開しました。



【道具の使用体験の様子】

#### ②児童の感想等

- ・木のお盆を実際に手に取り、彫刻の細かさや重さを実感することができました。
- ・服の模様がきれいでした。繊細さと個性的な色を間近で見ることができて嬉しかったです。
- ・色々な道具や服など、自分たちで考えながら何でも作るアイヌの人たちはすごいと感じました。

### ■取組の成果（○）と課題（●）

- アイヌの人たちの歴史・文化等に関するアンケートにおいて、「今住んでいる地域や歴史に興味がある」「アイヌの人たちの歴史や文化についてもっと調べたい」と回答した児童の割合がほぼ100%となりました。アイヌの人たちの歴史や文化についてテーマを決めて探究し、「栗沢を発信する」テーマにつなげ、自分たちで調べてまとめる活動を行ったことが成果につながったと考えられます。また、「北海道や自分たちの住んでいる地域は好き」と回答した児童の割合は100%であり、郷土に対する愛着や誇りを育むことができました。
- まとめ・表現後、個人、グループ及び全体で振り返りを行い、児童が見いだした課題について主体的に探究を深めることができるよう、学びの環境を一層、整備していく必要があります。